



## 令和5年度 豊田市当初予算編成方針

### 1 市を取り巻く環境

新型コロナウイルス感染症は世界を一変させ、市民の生活様式や働き方は大きく変化しています。また頻発する自然災害や人口減少など市を取り巻く環境はこれまでの延長線上とは全く異なってきています。

我が国経済の動向をみると景気は緩やかに持ち直していますが、世界的な金融引締めによる金融資本市場の変動や物価上昇、供給面での制約等を背景とした海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっており、市税収入への影響について十分注意する必要があります。

このような状況であるからこそ、柔軟な発想による施策・制度の見直しや民間活力を含めた多くの知見を生かした前向きな変革を積極的に進めることが必要です。

### 2 予算編成の基本方針

本市では、これまでのコロナ禍の経験を踏まえ、ウィズコロナの取組を実施する中で、新たな希望や可能性に向けて変わる社会・変えるミライへ挑戦しています。

令和5年度は全国初となる自治体主催のFIA世界ラリー選手権の開催も予定しており、ポストコロナ社会を見据えた上で、市民、地域、企業それぞれの主体が、更なる活気に溢れ、安全・安心な生活をおくることができるよう、元気で明るいまちづくりを進めることを目指し、以下の4点を基本として予算編成します。

- (1) ポストコロナ社会を見据え「第8次総合計画後期実践計画」を着実に推進します。
- (2) 市民生活の「安全・安心」を高める取組を的確に推進します。
- (3) 将来を見据えた「まちづくりへの投資・人への投資」を推進します。
- (4) 歳入の積極的な確保、歳出の適正化を進め、「財務体質の強化」を図ります。

### 3 具体的な取組

#### (重点的に取り組む施策)

基本方針に基づき、以下の項目に重点的に予算を配分します。

- (1) 第8次総合計画後期実践計画 重点施策事業
  - ア 超高齢社会への適応
  - イ 「ひと」と「しごと」が集まるミライへの投資
  - ウ まちの課題解決力の強化

- (2) 社会保障等に係る経費、自然災害や感染症への対応、公共施設の保全など市民生活の「安全・安心」のために必要な施策
- (3) FIA 世界ラリー選手権の開催に関する施策 及び 山村地域の活性化、交通安全の推進、産業振興を図るための施策
- (4) カーボンニュートラル、デジタル化など市民、企業等と連携して重点的に取り組むことで社会課題解決を図る施策
- (5) 子どものための施策や、誰もがより一層活躍できるための学びへの支援・環境整備など、変化する社会を見据えて人への投資を行う施策

#### **(歳出の適正化、歳入の確保)**

- (1) 地方交付税の合併特例措置の終了や法人市民税の一部国税化に伴う恒久的な歳入減は今後も継続することを再認識し、最少の経費で最大の効果を挙げるために、実施効果を見極めた事業の見直しを徹底して行います。
- (2) 効率的かつ効果的に公共サービスを提供するため、公民連携を推進し、柔軟な発想で市と民間の役割分担や、民間活力導入による事業手法の見直しを行います。
- (3) 新規事業、拡大事業は特定財源の確保や既存事業のスクラップ等を徹底して行います。
- (4) 国県補助制度の情報収集を行うとともに、採択を受けるための事業手法への検討と調整を進め、積極的に確保します。その他市有財産の貸付・売却、広告事業、未収債権の削減、ふるさと寄附金等を始めとする歳入確保に積極的に取り組みます。

#### **(投資的経費の確保)**

- (1) 未来への投資である普通建設事業費は、300億円以上を確保します。
- (2) 市債や基金は、まちづくりに必要な投資や市民サービスの提供のため、必要に応じて有効活用します。

#### **(特別会計、企業会計、協会公社等への対応)**

- (1) 特別会計及び企業会計は、一般会計から繰出金等を支出していることから本方針を周知徹底した予算編成を行います。
- (2) 協会公社等に対する補助金や委託料等についても本方針を周知徹底した予算計上を行います。